

## 事前意見書に対する回答

No	問	委員意見・質問等	回答
1	前文	「調査の趣旨とご協力をお願い」6行目の文書中「計画」の文言について、「第〇期計画」と明示した方がわかりやすいのではないか。	「今回、第3期計画期間の終了にあたり、新たな第4期計画を策定することとなりました」と改めます。
2	全体	理想としては5分から10分以内（少なくとも15分以内）に回答できるようになっているか疑問。 少しボリュームが多すぎ、回収率が下がる原因になる。同じ趣旨の質問項目や、類似の選択肢が多いという印象を受ける	経年比較のため過去の市民意識調査と同じ質問を含んでいること、また、大阪府の調査との比較を行うために府調査の質問を一部取り込んでいることから現在の質問数（62問）となっています。 調査票発送後1~2週間後に督促状を発送することで回答回収率を上げ、信頼性がある調査結果が得られるよう努めます。 （前回（H25）の質問数は61問で、回答率は38.6%でした。）
3	全体	無作為抽出ではあるが、宛名の本人が回答できない場合「家族の誰かが回答するように」との指示になっている。 回答者は結果的に時間のある人に偏る可能性（高齢者、専業主婦）があるが、その影響があることを前提とした調査実施という理解でよいのか。	冒頭「ご記入にあたってのお願い」の文章は「本人による回答を求めるが、家族による代筆等も可能」という意味合いで記載したものです。 回答者に意図が明確に伝わるよう「あて名のご本人が回答してください。（ご本人での回答が困難な方は、ご家族などの代読や代筆などによりご回答いただいて結構です。）」と改めます。
4	全体	問のナンバリングがわかりにくく、答えにくいのではないか。	現在は、区別しやすくするため、追加した質問はアルファベットでナンバリングしています。 実際の調査票は全問数字の通し番号でナンバリングします。
5	全体	「女性が・・・」という質問が多いが、「男性が・・・」という質問がきわめて少ないのは残念に思う。	女性が各分野に参画・活躍していただくための施策等を検討するにあたり、女性が主体となる質問が多くなっています。
6	問5	選択肢において「3. 結婚していたが、離婚または死別」とし、「死別」「離別」をひとつのカテゴリーにまとめているが、分析上、問題はないのか。 たとえば、選択肢を、「3. 離婚し、現在は配偶者、パートナーはいない」「4. 死別し、現在は配偶者・パートナーはいない」とするなども可能ではないだろうか。	ご意見に沿って選択肢を修正します。

No	問	委員意見・質問等	回答
7	問 B	「年間所得は、税込みで・・・」 →「税込み」という表現が、わかりにくいのでは？ 「所得税、社会保険料等控除前の額」など、回答者にわかりやすい表現が良いですね。	ご意見に沿って質問文を修正します。
8	問 B	問 B の前に、現在の就業形態（問 3 0）を確認する方が回答しやすいのではないかと。所得を聞く場合は、属性項目の一つとしてまとめるほうが回答しやすい。また、必要であれば、ここで、配偶者・パートナーの就業形態を回答してもらう方が回答はスムーズになるように思われる	問 30 を問 B の前に移動します。
9	問 7 問 D	「10 男女共同参画の推進について」の項で尋ねる方がよいのではないかと。 特に問 D は、現在、どういう状況なのかもわからない回答者が多いので、いきなりという感じはぬぐえない	問 7・問 D を「10 男女共同参画の推進について」の項に移動します。
10	問 D	「8 政策・方針決定の場への参画について」の項への記載がふさわしいように思われる	選択肢 11・13・14 があることを踏まえ「1 0．男女共同参画の推進について」の項に移動します。
11	問 D	「警察官」「自衛官・自衛隊員」は、選択肢のどれかに含まれますか？	「16.その他」になります。 具体的に記入していただけるよう選択肢を「16.その他（具体的に）」と修正します。
12	問 F	選択肢に「性別で役割分担をすべきでないから」を追加できませんか？	ご意見に沿って選択肢を追加します。
13	問 15	「5 労働について」の項目ではないか	仕事だけでなく、育児・介護等生活全般に関する質問なので現在の場所に記載しています。
14	問 25	家庭生活と、地域活動への参加は、目的や機能が異なる。別々に聞くべきではないか。「問 3 4」「問 H」「問 3 6」との対応関係を考慮していただきたい。	ご指摘の通り「6 地域活動などへの参画について」の項で地域活動に関する質問を設けているため、問 25 は家庭生活についてのみ問う内容に修正します。

No	問	委員意見・質問等	回答
15	「4 教育について」全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般論として、聞いている項目なのだろうか。そうであれば、質問の文章を修正する必要があるように思われる。問 26「あなたは、女の子、男の子は、それぞれどのように育つのがふさわしいと思いますか」問 27「あなたは、女の子、男の子は、それぞれどのような生き方をするのが良いと思いますか」など。</li> <li>・問 28 は冒頭に盛ってきた方がこの項目の質問の意図がわかりやすく、回答しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 26・27 について、ご意見に沿って質問文を修正します。</li> <li>・問 28 を問 26 の前に移動します。</li> </ul>
16	問 29	<p>選択肢に、「デート DV についての教育を行う」を追加できませんか？</p> <p>(DV は大人の夫婦・パートナー間だけでなく、交際相手からも受ける場合もあるため)</p>	DV に関する質問として、問 46 に選択肢を追加します。
17	問 G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この設問の設定目的は何ですか？</li> <li>「なぜそう思ったのか？」選択した理由も質問しませんか？</li> <li>・年齢や学歴に関係なく、聞くのだろうか。あまり効果的だとは思われない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから大学等への進路を選択する女性学生を主な対象に、STEM（科学・技術・工学・数学）分野に対する意識を調査しようとしたものです。</li> <li>・ご意見を踏まえて、削除します。</li> </ul>
18	問 30	現在の就業形態については、フェイスシートで回答する方がよいのではないかと。同様に、現在の配偶者・パートナーの就業形態を聞いているが、同じくフェイスシートでよいのではないかと。質問の意図が見えづらくなっている。	問 30 を問 B の前に移動します。
19	問 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自営業について、家族従業者を含んでいるが、「男女共同参画」の視点から言えば、選択肢を別途、もうける必要があるのではないかと。</li> <li>・「無職」と「専業主婦・主夫」の説明を入れたほうがよいのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族従業者の選択肢を別途設けます。</li> <li>・「無職」と「専業主婦・主夫」の説明を補記します。</li> </ul>

No	問	委員意見・質問等	回答
20	問 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問の目的が見えない。「仕事をやめた」理由に対し、複数回答を可能としている。しかし、仕事をやめた時代や回答者のライフステージでの時期によって、その理由は異なる。「最後に仕事をやめた時の理由」に絞り、「3つまで」とするなど、限定をかけなければ、今現在の何を明らかにしたいのかが見えない。</li> <li>・選択肢において、男女ともに相談件数が増えている「ハラスメント、いじめ」という項目が加えることが必要だと考える。「人間関係」の中に含まれるべきではないし、「その他」として回答者に記述を迫ることではないように思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問文を「あなたが最後に仕事をやめたときの理由は何ですか」(○は3つまで)と修正します。</li> <li>・問 31-1 回答の選択肢に「パワーハラスメント (パワハラ)・セクシュアルハラスメント (セクハラ) などのハラスメント、いじめ」を追加します。</li> </ul>
21	問 32、33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 1 1 と趣旨は同じではないか。問 1 1 のところに、選択肢を整理してたずねることもできるのではないか。</li> <li>・選択肢が「現在の行動」と「つもり」「だった」とが一緒になっている点も、何を明らかにしたいのかが見えてこない。回答しづらいだけでなく、文字数が多すぎて、ここで回答をやめてしまうというリスクもある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府の調査と同じ質問を行い、府と市の調査結果の比較を行うため質問はそのままとします。</li> <li>・問 33 の質問文を「女性が仕事をするについて、現時点で実際にはどれにあてはまりますか」と改めます。</li> </ul>
22	問 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「64歳」という年齢は必要ないのではないか。フェイスシートで年齢を記入してもらっていれば、クロスをかければ年齢による回答傾向は明らかになると思われる。</li> <li>・「家事専業」という属性を一度も聞いていないので、「専業主婦・専業主夫」とするか、「専業主婦・専業主夫」を「家事専業」に置き換えることで一貫性を持たす必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「64歳以下」という条件を外すと、年齢についての質問(問 2)が10歳刻みとなっており、府調査との正確な比較が行えなくなるためこのままとします。</li> <li>・質問文を「64歳以下の方で、現在、専業主婦・専業主夫または無職の方(学生は除く)にお聞きします」と改めます。</li> </ul>

No	問	委員意見・質問等	回答
23	問 37	<p>選択肢「3. 特にしたくはない」の理由も尋ねてもいいのではないかと思います。</p> <p>地域活動の運営方法や体制などがとくに若い世代の意識やニーズと乖離しているかもしれないと思うので、したくない理由も聞いてみてはどうでしょうか。</p> <p>私の地域でも地域活動の運営自体が更新される必要を感じています。</p>	ご意見に沿って質問を追加します。
24	問 40	<p>「6 地域活動などへの参画について」の項目に移してはどうだろうか。問37-2で、役職や活動の障壁について聞いているので、回答しやすいように思われる。</p> <p>また、男性も地域活動に参加しにくい理由を問25で触れているので、こちらに整理することで、少し質問項目がスリムになり、質問の意図も明確になるのではないだろうか</p>	問40・40-1について「6 地域活動などへの参画について」の項に移動します。
25	問 41	<p>事業所→「職場」とする。</p> <p>「あなたは政治・行政・職場の意思決定や方針決定の場に女性が少ない理由は何だと思えますか」の方がわかりやすい。</p>	ご意見に沿って質問文を修正します。
26	問 41	<p>「女性側の積極性が十分ではない」という選択肢との対応関係を考えると、選択肢6について 「女性の参加を進めようという男性側の積極性が十分ではない」とすることを提案したい。</p>	ご意見に沿って選択肢6を修正します。

No	問	委員意見・質問等	回答
27	問 K	選択肢③に、「物を投げる」を追記できませんか？	人に向けた暴力として、選択肢②に追記します。
28	問 42～ 44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS やインターネット上での性犯罪、性暴力の加害者、被害者になっていることを踏まえると、少年・少女が巻き込まれる性犯罪について、何らかの形で盛り込む必要があると考える。</li> <li>・ハラスメントについては、「指針が出たのでよい」とするのではなく、現状、労働局の労働相談において年間6万件を超える相談があるので、「労働について」の項目で少なくとも、ハラスメント被害の有無についての質問項目は維持する必要があると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 42 を削除せず、「4 教育について」の項に移動します。</li> <li>・ハラスメントの実態については、問 31-1 で新たに回答の選択肢を設けることにより実態を調査します。</li> </ul>
29	問 45-1	選択肢に、「学校の教師（担任や養護教諭など）」を追記できませんか？	ご意見に沿って選択肢を追加します。
30	問 46	選択肢に、「小学校・中学校での教育啓発を行う」を追加できませんか？	小・中学校に限定せず「学校での教育啓発を行う」として選択肢を追加します。